

令和4年度 第3回 稲敷市外部評価委員会ヒアリング

日時：令和4年8月18日（木）午前9時30分～

場所：稲敷市役所

発言者	発言内容
-----	------

1. 開会

事務局	皆さまお揃いですので令和4年度 第3回稲敷市外部評価委員会を始めたいと思います。本日は事業ヒアリングということでの評価になりますので、よろしくお願いします。 それでは、委員長あいさつをお願いいたします。
-----	--

2. 委員長あいさつ

委員長	本日のヒアリングは1事業につき30分間、はじめの20分で質疑応答、残りの10分間で議論して評価を決定する形で進めたいと思っています。時間も限られていますので、しっかりスケジュール管理をしながら進めていきたいと思っています。ご協力よろしくお願いします。
-----	---

3. 事務事業ヒアリング

事務局	それでは、ヒアリングを始めさせていただきますので、担当に変わります。進行については、委員長よろしくお願いします。
-----	--

（1）サイクリング環境整備事業（まちづくり推進課） 「拡充」

①質疑応答

委員	事業の進捗状況について、今後計画を立てて整備を進めると記載がありますが、今ある計画で、和田公園はサイクリング関係のみならず観光全体としてどのような位置付けか教えて頂きたいです。
まちづくり推進課	サイクリング環境整備事業は基本的に県指定のつくば霞ヶ浦りんりんロードを拠点と考えております。委員がおっしゃったとおり、建設課の公園整備室で和田公園の再整備計画、基本計画を昨年策定し、今年度で基本設計を策定予定と聞いております。今後、話し合いの場もありますので、それまでに課としても基本設計の中に盛り込みたい要望をとりまとめたいと考えております。

委員	昔、和田公園の辺りは湖水浴場として、稲敷の観光のメッカとして賑わっていました。今は「泳げる霞ヶ浦」を目標に浄化を進めていますので、その重要な拠点でもある和田公園を昔のような姿に戻していただきたい、というのが私を含めた住民の願いではないかと思っています。素晴らしい景勝地でありますし、整備しないと稲敷の賑わいを取り戻すのは難しいと考えておりますので、和田公園を重点化し、拠点の整備を進めてほしいと思います。サイクリングの面でもキャンプ場としても同様です。
まちづくり推進課	公園の再整備については、現在市でもキャンプの話が出ていますが、地元の方のご意見を伺いながら、どういったものが出来るかどうかを判断し、建設課で実施設計をしていくことになると思います。 現状、サイクリング客はいるのですが、和田公園はトイレ休憩に立ち寄る程度となってしまうので、市としてもここがサイクリングの発着点となるような施設やサイクリングをサポートできる環境整備を計画に盛り込みたいと考えております。
委員	サイクリストが休憩などで市へ立ち寄るかと思いますが、稲敷市は観光面で美味しいお店やお土産などが少ない気がします。その辺りの連携や働きかけはありますか。
まちづくり推進課	「イナシキライド」というサイクリングマップで紹介をしています。今年度もまた改定して作成いたします。ただ、湖畔沿いを走っているので、ルートから外れてまで市内のお店に立ち寄るかと言われますと、難しいところもあります。
まちづくり推進課	補足として、「イナシキライド」は4ルート、江戸崎、新利根、桜川、東の各地区で楽しめるコースを紹介しており、地元商店など市内37か所のサイクルサポートステーションなどに置いてもらっています。また、「ちゃりさんぽ」というサイトを検索すれば携帯からでも見るができます。
委員	利根川沿いにサイクリングコースはあるのでしょうか。
まちづくり推進課	実際にサイクリングをしている方はいらっしゃいますが、利根川沿いは茨城県の指定ルートではありません。
委員	拠点を整備して終わりではなく、人を配置して夜間のケアやキャンプ場も併せて管理できる形で進めてもらえると、地元にも迷惑をかけず、お客さんへのサービス向上へも繋がって良いと思いますが、どうでしょうか。

事務局	昨年度から和田公園のデイキャンプでは仮設の管理棟で電話対応・当日の受付をしております。
委員	受付の方がいるのですか。行った時には人がいない状況でしたが、コロナ禍だったからでしょうか。
事務局	コロナ禍では受付をしていない時期がありました。通常は朝 8:30 から夕方 17:00 まで受付などを行っています。また、公園内のちょっとしたコミュニティスペースとしても機能していました。
委員	職員を配置するのも大変なので、地元の人を採用して配置すると、地元とも上手く調整できるし、夜間に騒ぐ人などへの抑止力効果もあるかと思いますので、考えていただければと思います。
まちづくり推進課	現在も管理事務所には地元の方が従事しておりますが、成田市に地元の NPO が管理している公園がありまして、そういった事例を参考にできればと思っています。
委員	水辺ですので水難事故なども起きやすいと思います。よく管理しなければならぬと思います。
まちづくり推進課	地元の方には騒音などがあれば警察に通報して頂いて、警察に対応してもらうよう話は通している状況です。 話は少し変わるのですが、現在まちづくり推進課でも、地域おこし協力隊でサイクリング担当の隊員が 1 名おりまして、将来的には稲敷市で和田公園を拠点としたサイクリング事業を担当して頂きたいという思いがあります。
委員	3 点よろしいですか。まずは、担当課評価の内容で「サイクリング事業の重要性が増していく」という言葉が漠然としており、何が重要なかわからなかったのでご説明頂きたいと思います。 次に、市民満足度について、交流人口を含めるとサイクリングロードを使用する人の満足度を測る必要があると思うのですが、今後どう把握していこうとお考えでしょうか。 最後に、この事業を進める事でどう経済へ波及効果を及ぼすと考えていますでしょうか。
まちづくり推進課	まず 1 点目ですが、和田公園を拠点としてサイクリングを推進していきたいと考えておりますので、公園の整備が進んだ際には、ここを発着点としてサイクリストからの需要も増えていくと考えております。

	2点目の市民満足度について、建設課の公園整備室とも話をしておりますが、公園内の施設をどのようなものにしたいか、アンケートを公園利用者・サイクリストを対象に行いたいと考えております。 3点目の経済波及効果に関してはまだ考えが及んでおりません。
委員	公共の事業や施策というのは、必ずしも儲かる、儲からないではないと思いますが、お金を使って使えばなしにならない工夫も求められるかと思えます。先ほどありましたマップのように、地元はどう還元していくのかという点も、より意識をして頂ければ良いと思います。
まちづくり推進課	公園の整備でどこまで集客できるかが重要だと思っています。人が来ない事には難しいところもありますので、管理棟やショップ、レンタサイクル等を併設するのかどうかも含め、他課と連携し考えていきたいと思えます。
委員長	予算の執行率が3年連続で低いのは理由があるのでしょうか。この2年間はコロナの影響かと思うのですが、2019年も低いのは何故でしょうか。予算を付けたけど使い切れなかったという理解でよろしいですか。
まちづくり推進課	調べて後ほどお伝えさせて頂きたいと思えます。資料を持ち合わせておらず、この場でお答えできず申し訳ありません。
委員	最後に担当課として、サイクリング環境整備事業を今後の稲敷市の中心的な施策として積極的に取り組んでいくお考えなのでしょうか。それとも、りんりんロードが指定されたのでお付き合いでやっているだけなのか、正直なところをお聞かせいただけたらと思えます。
まちづくり推進課	りんりんロードに指定されたことは勿論ですが、風光明媚な地であり、交流人口の増加や市の活性化が期待できますので、将来に渡っても積極的に推進していく事業になるかと思っております。貴重な資源である事は間違いありませんので、大切にしていきたいと思っております。

②議論

委員長	それでは評価を決めたいと思えます。現状、拡充3名、改善2名という状況になっていますが、いかがいたしますか。 あまり財政に明るくないので素人考えですが、執行率が低いのに拡充して予算付ける理由がよくわかりません。
委員	本当に進めたいのであれば、コロナ関係なく、もう少し工夫して出来たのではないのでしょうか。

委員	茨城県が定点調査による統計をとっており、何人訪れているか、商店利用者数等も数字は出ています。流入人口がかなり増えているのは事実です。通過点として、令和2年度は10万人以上来ているというデータも見ました。来ているのは間違いありませんが、霞ヶ浦周辺は稲敷だけ極端にお店がありません。マップを見て「稲敷には何もない」となってしまいます。和田公園もありますし、そういう意味で「しっかり執行してもらいたい」という改善の意味がある拡充として後押しした方が良い方向に進むのではないかと思います。
事務局	予算について補足ですが、建設課では道路サイン等のペイントに年間1,000万円かけて2か年やっていますので、ハード面では整備に力を入れています。まちづくり推進課は、やはりイベント関係の委託料や負担金関係の内容になりますので、コロナ禍では低調なのかと思います。
委員長	皆様いかがでしょうか。どちらかに集約できそうでしょうか。
委員	しっかり実行していこうという方向で、拡充はどうでしょうか。
委員	逆に今出来ていないという意味なので改善ではないでしょうか。
委員長	拡充だと予算を増やすという意味合いですよね。そうではなく、今の予算をしっかりと使っていくことが大切だと思います。事務局いかがでしょうか。拡充と改善の違いはどう考えていらっしゃるでしょうか。
事務局	予算を基準で考えています。拡充は予算を増やす、一方改善でも改善のために予算が必要であれば、柔軟に、ケースバイケースで考えています。
委員	予算を付けるというとハード中心に考えてしまいますが、ソフト面、個別に予算を増やしていければ良いと思います。トータル予算を増やすのではなく、事業を起こす際に予算をきっちり付けるという意味の拡充もあると思います。
事務局	先ほど委員がおっしゃったように稲敷には店がなく寂しい、もっとイベントをというご意見であればニュアンスは拡充のような感じがます。
委員	指標が弱い感じはします。流入人口の想定数値などが低いと思います。県にヒアリングしたらもっとポジティブな指標が出ると思うのです。
委員	担当課評価も漠然としすぎている感じがします。今後サイクリングの重要性が増して行くという表現もよくわからなければ、交流人口とすると言いながら、交流はしていません。現状何をやりたいか、力の入れ方が見えて来ません。単に使いなさいと拡充にするのか、使うのであれば予算を付けるからメリハリを付けた利用をという意味で改善とするかですね。

委員	日本全体で見れば健康志向も高まっているのでサイクリングが盛り上がっているのはわかっているのですが、土浦ほどは盛り上がりを感じていません。
委員	市民のサイクリング熱が醸成されていない感覚はあります。土日は沢山自転車が来て、頑張っているという位の印象ではないでしょうか。市民にも参加、協力してもらうようなことも含めて検討いただきたいです。
委員	稲敷のキッチンカー出店情報を出すとか、トイレ等の整備などはぜひ実行していただきたい気持ちはあります。
まちづくり推進課	予算の執行率についてですが、一部誤りがございました。申し訳ございません。正しくは、2019年度は執行率が74.5%、2020年度執行率は90.9%、2021年度は50.7%となります。2021年度は委託料を考慮し当初予算を組みましたが、低額で執行できたということで、3月議会で減額補正をしています。
委員長	ありがとうございます。2020年度の執行率は9割を超えていること、そして2021年度の50.7%ですが、それは委託費が思ったより安く済んだということですね。皆さん何かご質問ございますか。大丈夫でしょうか。

③評価判定

委員長	執行率については今の説明で大丈夫そうですね。それでは、付帯意見をつけて「拡充」としてよろしいでしょうか。 付帯意見は先ほど出ました、公園担当との連携面、ハードだけでなくソフト面の推進について、サイクリストが滞留できて市民にもメリットを感じるイベント、市民の意識の醸成などについて付してはいかがでしょうか。
委員一同	異議なし。
	→<u>拡充</u> <u>付帯意見</u> ・和田公園担当との連携を図りながら、ハードの整備だけでなく、ソフトの取組を進めていく必要がある。特に市民のサイクリングへの関心の醸成を視野に入れ、市民がメリットを感じると同時にサイクリストが市へ滞留できるようなイベントを進めていただきたい。